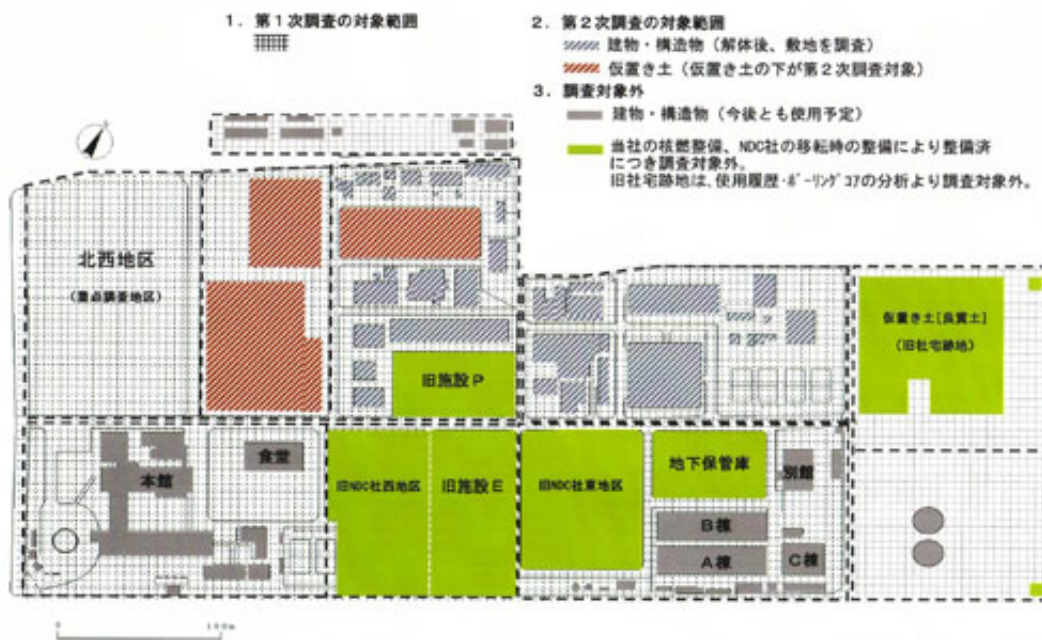


## 1. はじめに

昨年7月、当所本館床下から放射性物質の入ったビン21本が発見されたため、文部科学省へ報告を行い、同省の指導を受けながら、昨年12月より、所内全域において、地表面及び地上1mにおける空間線量当量率の測定、既存ボーリングコアの放射線測定を実施するとともに、北西地区を重点調査エリアとしたボーリング調査等を実施しております。

ボーリングコアにつきましては、(財)日本分析センターに分析を依頼、順次解析が行われており、全体結果がまとまる本年10月中旬以降に、別途説明会を開催させて頂く予定であります。現時点の状況について、概要を以下のとおり中間報告させていただきます。

## 2. 調査区域図



## 3. これまでの経過

(平成16年)

- 7月15日 本館床下より放射性物質の入ったガラスビン21本発見
- 8月16日～17日 文部科学省へ報告。
- 8月18日 文部科学省の現地調査。同省より「安全管理の徹底についての嚴重注意」と、3項目の指導。
- 8月19日 新聞報道
- 9月25日 当所における説明会(所内全域調査を実施していく旨報告)。
- 10月12日 3項目に対する措置状況を文部科学省へ報告。同省による現地調査後、同省がホームページへ掲載。

(平成17年)

- 1月～3月 北西地区ボーリングコア採取。

- 4月～9月 日本分析センターにボーリングコア分析を依頼。詳細調査が必要な箇所について追加ボーリングを断続的に実施。
- 9月3日 保管庫の定例見学会

#### 4. 本館床下から発見されたガラスビン21本について

- (1) ガラスビン21本のうち、12本は天然ウラン（約1.2kg）。9本はトリウム（約6.1kg）。これらは、ドラム缶に収納し、地下保管庫に収納致しました。
- (2) 放射性物質が発見された場所は、検出限界以下（0.18ベクレル/cm<sup>2</sup>）未満に除染致しました。
- (3) 「現在、使用中の建物の内部」及び「現在は使用していない建物の内部」については、内容不明な放射性物質がないことを確認しておりますが、今後、積み置き土、建物の下の部分についても調査を実施することとしております。

#### 5. これまで実施した全域調査

##### (1) 地上1mの高さにおける空間線量当量率測定

- 5,234点（グラウンド、社宅を含む）を測定しました。
- このうち、0.11μSv/hを超えた地点は9点（うち北西地区が7点）。
- この9点についても、バックグラウンドを差し引いた数値は、周辺監視区域外側での線量限度を超えていないので問題はありません。

##### (2) 地表面の精査

- 空間線量当量率の測定結果において、比較的高い値を得た地点を中心に、その周辺地表面について連続的に放射線測定を実施しました。
- その結果、ボーリング調査などによって、地中の状態を調査する必要のある箇所は、大半が北西地区に集中していることが判明しました。

##### (3) 既存コアの放射線測定

- 所内全域の重金属調査のために既に採取してあるボーリングコアについて、放射線測定を実施しました。  
木箱入りコア221本（ボーリング地点170地点に対応）。  
ビニール袋入り試料688袋

##### (4) 北西地区におけるボーリング調査

- 所内北西地区を重点調査エリアとして、ボーリング調査を実施し、地中の状態を調査しました。
- 北西地区の南側区域では10mピッチ、北側区域では5mピッチでボーリングを行い、合計714本のボーリングコアを採取しました。現在、日本分析センターに、ウラン、トリウムの含有量分析と核種分析を依頼しています。。

##### (5) 北西地区以外のボーリング調査の実施

- 上記（１）の調査結果等を踏まえ、より詳細な調査が必要と思われる５箇所について、97本のボーリングコアを採取しました。
- 日本分析センターに、ウラン、トリウムの含有量分析と核種分析を依頼しています。

---

## ■ Q & A

Q 1 : 所内全域の放射線測定の結果、管理区域の設定が必要となるような場所はありましたか？

A 1 : 地上 1 m の高さにおける空間線量当量率調査や、ボーリングコアの放射線測定の結果によれば、管理区域を設定の必要となる場所はありませんでした。

Q 2 : 所内全域調査の結果、核燃料物質による汚染が判明した土壌は、どうなりますか？

A 2 : 地下保管庫の収納余力と回収する汚染土壌量にも関係してきますが、現時点では、管理区域として管理している施設 S に一時保管を行い、その後、地下保管庫に移動、保管することを検討しています。

Q 3 : 分析結果については、いつ頃、判明するのですか？

A 3 : 9 月下旬から 10 月初旬に日本分析センターの分析が終了し、その後、当所で全体結果のまとめを行いますので、10 月中旬以降になると思います。

Q 4 : 回収計画は、どうなりますか？

A 4 : 上記全体結果が判明した後、保管の問題も含め、具体的な回収計画を立案します。